

201129
ビジネス×数学勉強会
-DXって何だろう-

目次

- 今日のテーマ
- DXとは
- なぜ今、DX？
- DXの現状と事例
- 演習-自分の業界・会社のDXを考えてみよう-

今日のテーマ

DX

DXってなんだろう？

デジタルトランスフォーメーション

DXの定義（経済産業省）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること



- ・ ITを用いて、顧客や社会のニーズに合わせて変化しようぜ
- ・ 変化して、競争で有利になろうぜ

DXに必要な、DXを支える技術

- IoT
様々なモノがネットに繋がり、相互に制御される仕組み
- 5G
高速大容量、低遅延、多数同時接続を実現する通信システム
- クラウド
ネットワーク経由でサービスを提供
- AI
人間の振る舞いの一部を人工的に再現
- • • and more !

DXのメリット・デメリット

メリット

業務の
効率化と変化

時代対応

利益率向上



デメリット

既存システム
連携

導入費用

システムの
複雑さ

参考) 導入費用のデメリットについて

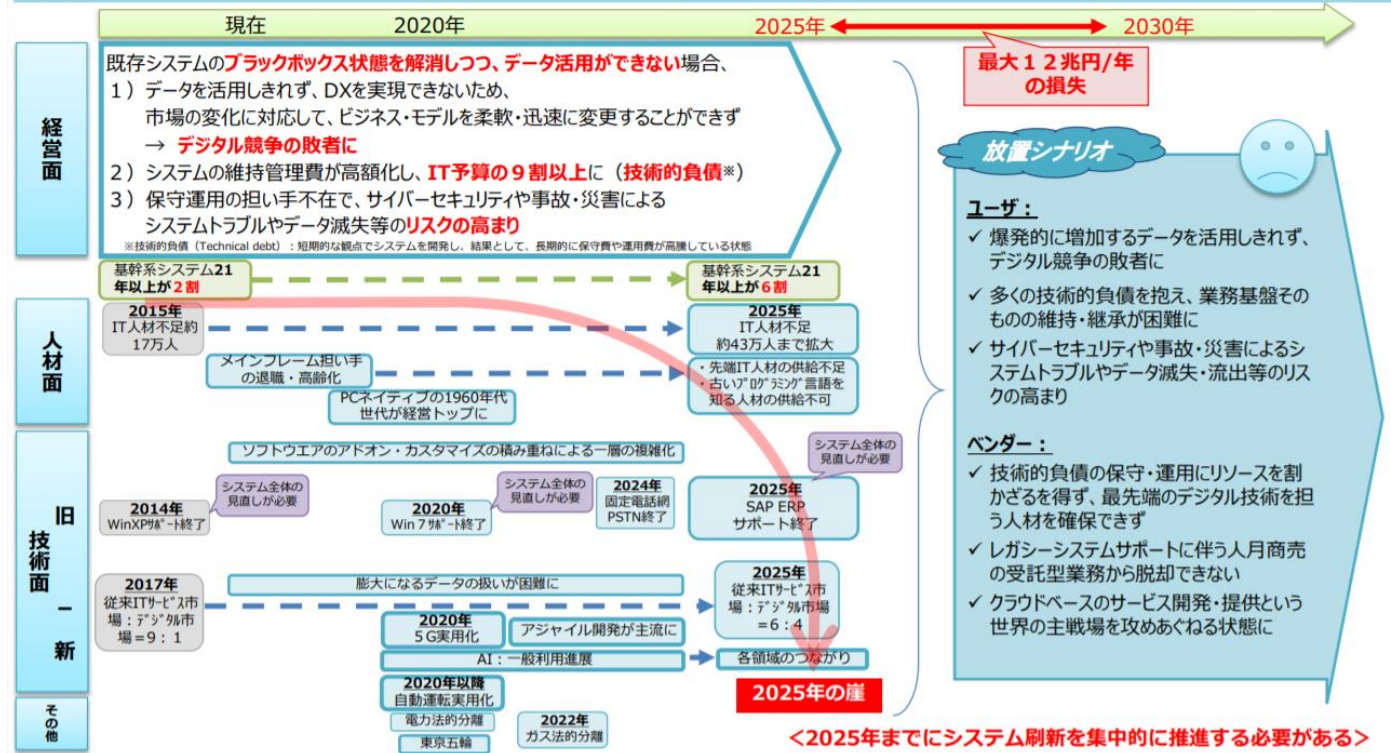
導入しないことで、2025年の崖がある。
DXが実現しないだけでなく、毎年経済損失となる。

2025年の崖

多くの経営者が、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネス・モデルを創出・柔軟に改変するデジタル・トランスフォーメーション(=DX)の必要性について理解しているが...

- ・ 既存システムが、事業部門ごとに構築されて、全社横断的なデータ活用ができなかったり、過剰なカスタマイズがなされているなどにより、複雑化・ブラックボックス化
- ・ 経営者がDXを望んでも、データ活用のために上記のような既存システムの問題を解決し、そのためには業務自体の見直しも求められる中(=経営改革そのもの)、現場サイドの抵抗も大きく、いかにこれを実行するかが課題となっている

→ この課題を克服できない場合、DXが実現できないのみでなく、2025年以降、最大12兆円/年(現在の約3倍)の経済損失が生じる可能性(2025年の崖)。



古いシステムで苦勞するのはしばしば聞く。

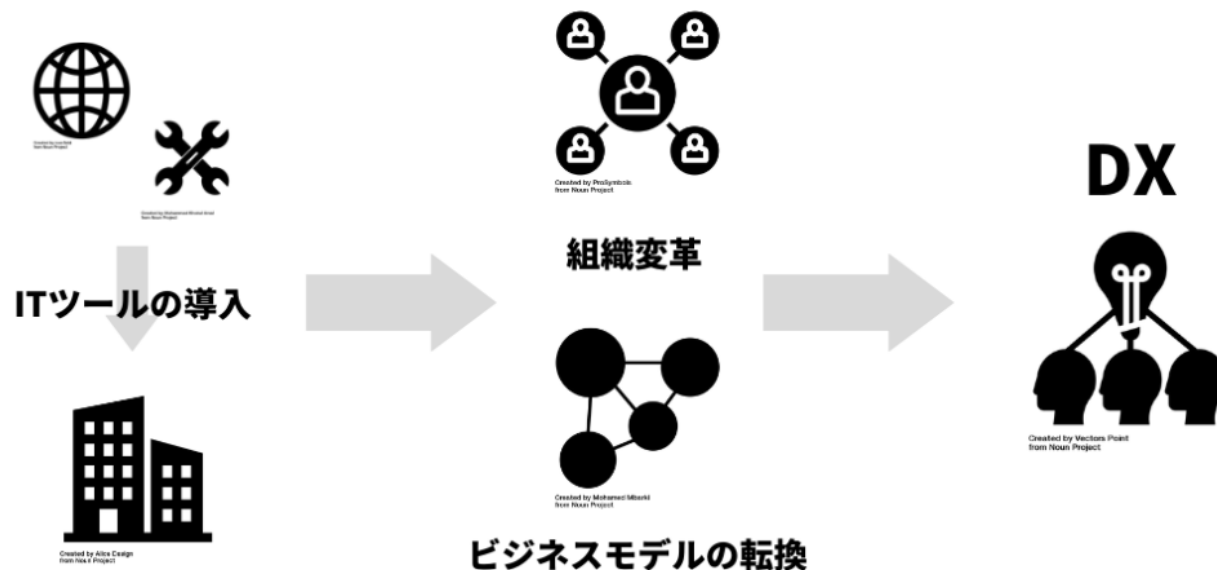
「アメリカの失業保険システムがCOBOL」
「（結局新システムになったけど、）みずほ銀行」
が最近だと個人的ヒットかな。

ITに投資しなくて悲慘になった例だと思うので、
ご興味があれば調べてみてください。

なぜ今、DX？
IT化と何が違うの？

DXが注目される理由：変革だから

- IT化
業務効率化などを目的とし、情報化やデジタル化を推進
- DX化
業務効率化などを手段とし、情報化やデジタル化を推進



業務効率化等がゴールではなく、変革がゴール！

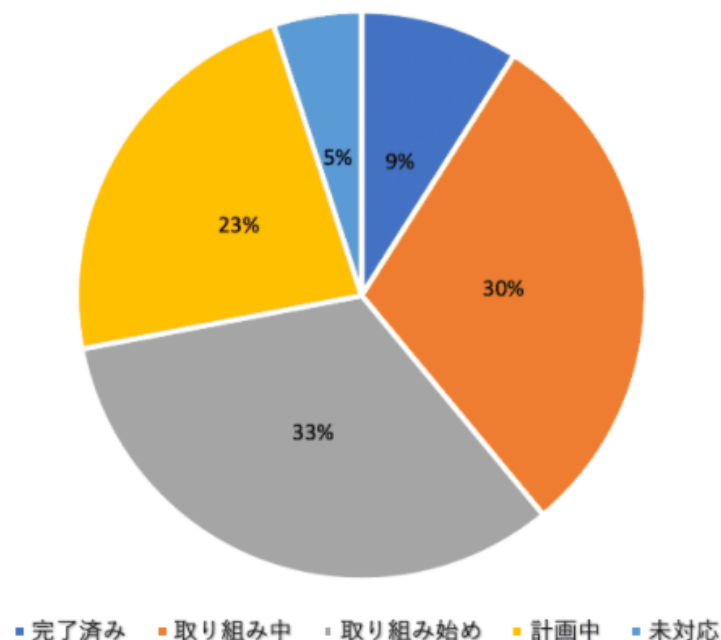
DXの現状

DXの着手が進んでいる

DXの現状とは

日本国内では、従業員数500人以上の企業のうち、70%がDXに着手（検討、検証、実行）しており[5]、グローバルにおいては、約9割以上の企業がDXに何かしら取り組んでいるとされています[6]。さらに、現在DXの取り組んでいない企業の半数以上が、2019年中には、検討を始めるというレポートもあり[7]、世界的にみてもほとんどの企業がDXに取り組んでいる、または取り組もうとしています。

DXへの取組状況



出典：Intel

法律を制定し、法律に基づいて認定する。

「情報処理の促進に関する法律」に基づくDX認定制度のWeb申請受付を開始します

2020年11月9日

▶ ものづくり/情報/流通・サービス

企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する自主的取組を促すため、デジタル技術による社会変革を踏まえた経営ビジョンの策定・公表といった経営者に求められる対応を「デジタルガバナンス・コード」として取りまとめました。また、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度（DX認定制度）のWeb申請受付を本日から開始します。

1. 「デジタルガバナンス・コード」の策定について

あらゆる要素がデジタル化されていくSociety5.0に向けて、ビジネスモデルを抜本的に変革し、新たな成長を実現する企業が現れてきています。一方、グローバルな競争の中で、競合する新たなビジネスモデルにより既存ビジネスが破壊される事例（デジタルディスラプション）も現れています。こうした時代変化の中で、経済産業省では、企業のDXに関する自主的取組を促すため、デジタル技術による社会変革を踏まえた経営ビジョンの策定・公表といった経営者に求められる対応を「デジタルガバナンス・コード」として取りまとめました。詳しくは、下記ウェブサイトをご覧ください。

■ [Society5.0時代のデジタル・ガバナンス検討会（METI-経済産業省）](#)

「デジタルガバナンス・コード」の概要

○「デジタルガバナンス・コード」の概要



楽天はDXの会社を設立


記事まとめ

- ✓ 楽天が新会社「楽天DXソリューション」を2021年1月に設立する。
- ✓ 全国の食品や日用品などの小売り事業者におけるDXの推進を支援。
- ✓ 実店舗の新たな形態の実現を目指す。

楽天、新会社「楽天DXソリューション」設立-小売り実店舗のDXを支援

2020年11月16日 10:10  0

 ツイート

 いいね! 0

 マイナビ ニュース



地は、東京都世田谷区玉川。

楽天は11月16日、国内で実店舗を運営する小売り事業者を対象に、実店舗のデジタル化やOMO（Online Merges with Offline）施策導入などのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進を支援する新会社「楽天DXソリューション」を、2021年1月に設立すると発表した。所在

新会社は、全国の食品や日用品などの小売り事業者におけるDXの推進を支援することで、実店舗の新たな形態の実現を目指すとしている。具体的には、AIによる需

ドクターズとGNUSは戦略的事業提携

医療のデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進を目指しドクターズ株式会社と株式会社GNUSが戦略的事業提携を開始

～医療 x テクノロジーで、医療・ヘルスケア領域のイノベーションを支援～

ドクターズ株式会社

🕒 2020年9月29日 10時00分



ドクターズ株式会社（東京都中央区、代表：柳川 貴雄、以下ドクターズ）と、株式会社GNUS（本社:東京都新宿区、代表取締役CEO:文分 邦彦、以下GNUS）は、あらゆる産業において事業化が進んでいる、新たなデジタルヘルスケアサービスの構築、医療ソフトウェアやアプリケーションの開発を通じて、医療・ヘルスケア業界のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進することを目的に、戦略的な事業提携を締結したことを発表いたします。

本事業提携により、ドクターズが運営する専門医を中心とした400名超のエキスパート医師等が企業のデジタルヘルスケアサービスの事業化を支援する『Doctors Cloud™』と、GNUSが提供するイノベーションコンサルティングとソフトウェア開発の専門性を合わせて、医療にまつわる医学的視点、疾病の視点、医療現場の視点、制度・法的な視点を様々なユーザーの体験設計を起点としたソフトウェア開発視点と融合することで、「医療にコミットするコンサルティングとソフトウェア開発体制」を提供いたします。大企業やヘルステックベンチャー等が医療機関向けに提供する本格的医療・ヘルスケアサービスの構築を、企画から開発、臨床研究、運用までワンストップで実現するものです。

■背景

高齢社会を迎えた日本において、医療・介護の需要が確実に増加する一方、医療現場では人手不足や待遇悪化、長

総合商社も参入



伊藤忠商事

English | 中文 | 文字サイズ

会社情報 ▾ ニュース ▾ IR (投資家情報) ▾ サステナビリティ ▾ 採用・

ホーム > プレスリリース > 2020年 > 医療・ヘルスケア業界向けDX支援事業への参入について

医療・ヘルスケア業界向けDX支援事業への参入について

2020年9月7日

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：鈴木善久、以下「伊藤忠商事」）は、医療マーケティング事業を展開する株式会社フェーズワン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：稲葉一元、以下「フェーズワン」）と資本業務提携し、医療・ヘルスケア業界向けDX支援事業へ参入致しました。

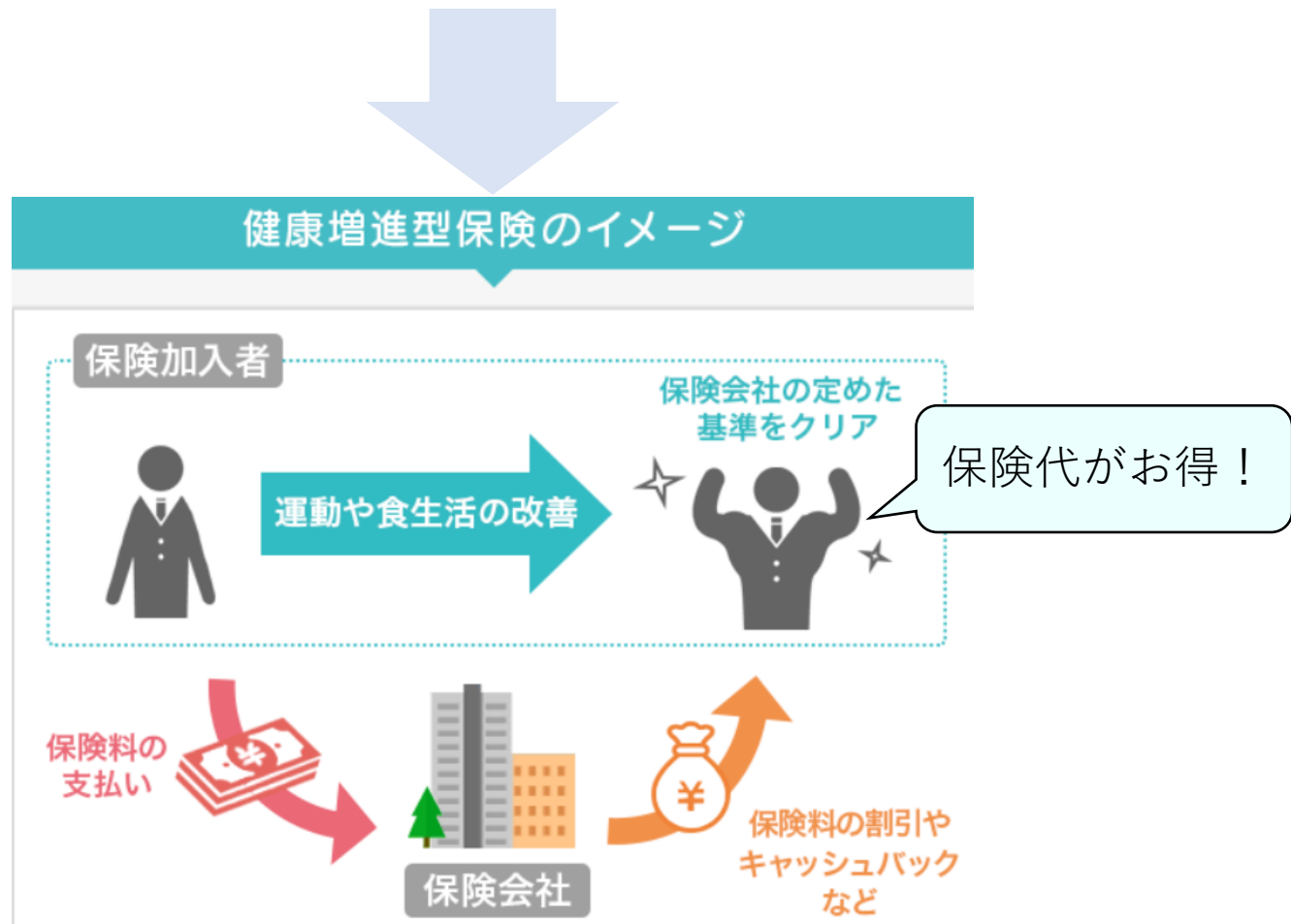
国内において高齢化に伴う医療費の増加は、大きな課題の一つとなっており、医療現場の効率化が求められてきております。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くの医療機関が院内感染防止の観点から入院患者や取引先との面会を制限しており、デジタルを活用した新たな医療現場構築のニーズが急速に高まっております。こうした中、医療、介護分野のDX※¹市場規模は、2017年の472億円から、2030年には約1,900億円にまで拡大が見込まれております。※²

フェーズワンは「医療を元気にしたい」という理念のもと、医療機関、製薬企業等に対してデジタルを活用したプロダクトやサービスの開発、運用、コンテンツ制作等を行ってきた医療・ヘルスケア業界向けDX支援事業のパイオニアです。同社は、長年培った大学教授、学会役員といった医学界との強固なネットワークを強みとして、医師によるサービスやプロダクト、コンテンツ等の指導、監修ができる体制を構築しており、参入が難しい医療業界において高品質かつ信頼性の高いサービスの提供を可能としております。

伊藤忠商事は、フェーズワンとの資本業務提携により、同社と共に医療・ヘルスケア分野のDX推進体制を構築し、国内外の医療機関へDX支援事業を展開して参ります。具体的には、第一弾として、以下2つの新規サービスの提供を開始致します。

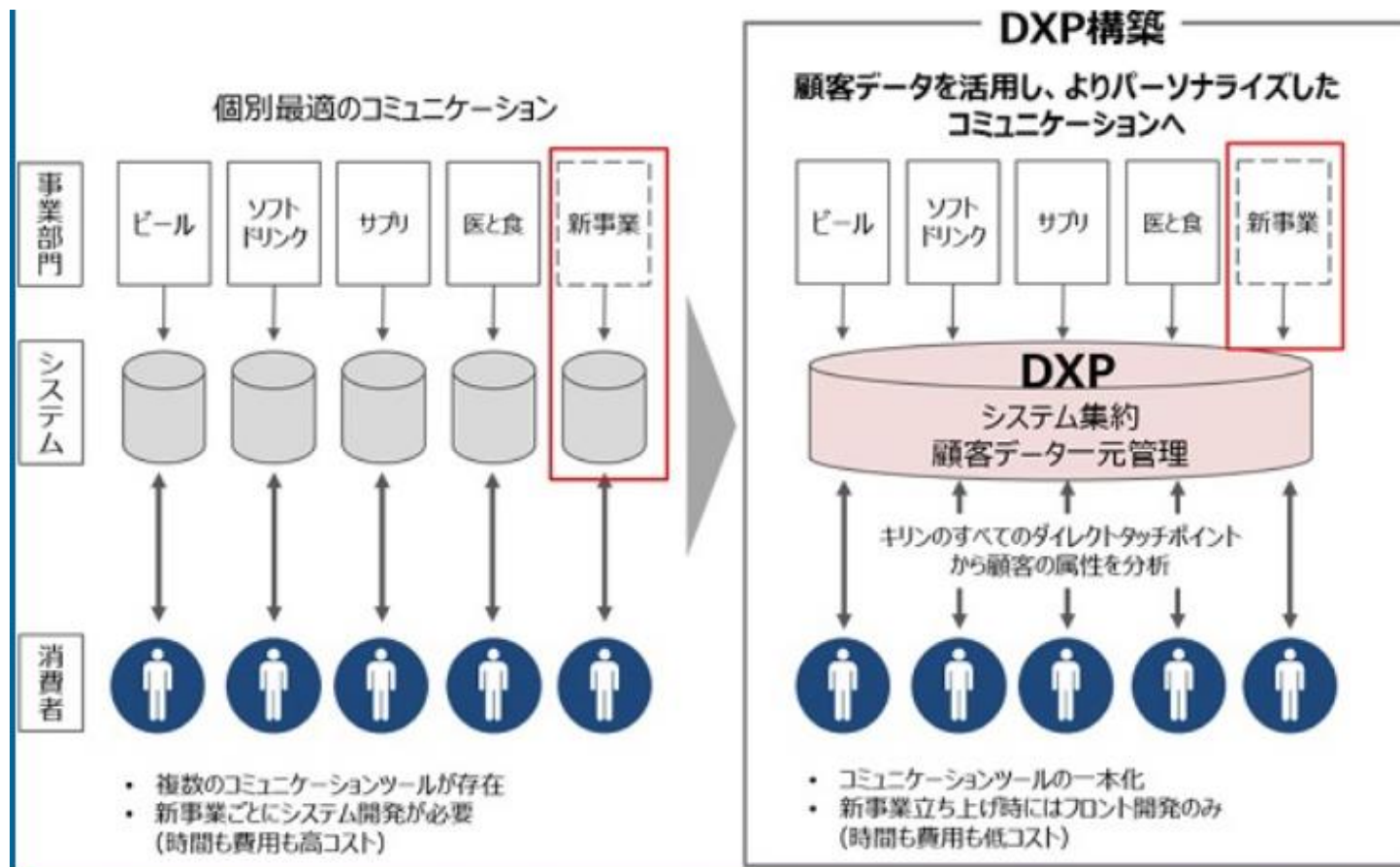
事例)ヘルスケア×DX

健康データの管理、健康スコアの算出、
AIによる相談や診療・・・and more !



事例)飲料メーカー(キリン)×DX

顧客の情報を一元管理し、
セキュリティや対応高速化を実現



「デジタル・エクスペリエンス・プラットフォーム」の活用イメージ（クリックで拡大） 出典：NTTデータ

「自分の業界や会社×DX」を考えよう！

考えるヒント

「実際にDX」 として取り組んでいること。
IT化したけど、こうすればDX？ということ。
見たり、聞いたりした事例

自由に考えて、調べてみましょう。